

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報システム科エンジニアコース	夜・通信	1309 h	160 h	
	情報システム科ITビジネスコース	夜・通信	1085 h	160 h	
商業実務専門課程	医療ビジネス科医療コース	夜・通信	971 h	160 h	
	医療ビジネス科ビジネスコース	夜・通信	875 h	160 h	
	ビジネスキャリア科	夜・通信	479 h	80 h	
	公務員科（2年）	夜・通信		160 h	※
	公務員科（1年）	夜・通信		80 h	※
（備考）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「令和7年度実務経験のある教員授業一覧」を学校事務室にて備え付け、公表している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	公務員学科
（困難である理由） 公務員試験合格のための指導を行う学科のため、実務経験のある教員の配置に適さないため。	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「令和7年度理事名簿」を学校事務室に備え付け、公表している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社メディック代表取締役 大野 正一	令和7年4月1日から 令和9年3月31日	教育カリキュラム アドバイザー
非常勤	株式会社ライフライン コネクト代表取締役 吉田 孝之	令和7年4月1日から 令和9年3月31日	学校経営アドバイ ザー
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・作成について シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 ・公表について 「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。	
授業計画書の公表方法	「令和7年度授業計画書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
・出席状況管理 授業の各時限において出席状況を把握している。 履修認定条件として、出席率は90%以上を基準としている。 ・学修成果の評価 定期試験を実施し、シラバスのとおりの成績評価を行い、単位認定基準として100点満点中60点を基準としている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・成績評価における客観的指標の設定 公務員科においては、全ての模擬試験の平均点を算出することを基本としつつ(80%)、出席状況も加味(20%)して、評価をA～Dの4段階で行っている。 情報システム科、医療ビジネス科、ビジネスキャリア科においては、履修科目の評価を総合評価して点数化し、評価をA～Dの4段階で行っている。 いずれにおいても、成績分布において下位4分の1がDに相当する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	「令和7年度成績評価基準」を学校事務室にて備え付け、公表している。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・本校のディプロマ・ポリシー 本校では、次のような資質や実践的職業能力を修得した学生に卒業を認定します。 (1) 専門的知識、技能、幅広い教養を修得し、感謝の心をもって物事に取り組むことができる。 (2) 柔軟で豊かな人間性を具え、国家や地域社会に貢献することができる。 ・卒業認定方針の作成プロセス 学内の検討委員会で検討したうえで作成している。 ・上記認定方針に基づく卒業認定方法 教務部長及び各学科担当者により卒業認定会議を実施し、個別の卒業認定を行っている。 ・学生への周知方法 「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	「令和7年度卒業認定基準」を学校事務室にて備え付け、公表している。

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「令和6年度貸借対照表」を学校事務室にて備え付け、公表している。
収支計算書又は損益計算書	「令和6年度収支計算書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
財産目録	「令和6年度財産目録」を学校事務室にて備え付け、公表している。
事業報告書	「令和6年度事業報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
監事による監査報告（書）	「令和6年度監査報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	情報システム科 エンジニアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1739 単位時間／単位	710 単位時間 ／単位	1029 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1739 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人 (情報システム科 総定員)		44 人	0 人	7 人	1 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価を A～D の 4 段階で行っている。 成績分布において、下位 4 分の 1 が D に相当する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級条件】 ・ 1 年次の各科目毎の出席率 90%以上であること ・ 1 年次の各科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・ 1 年次の検定取得状況が良好であること ・ 学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ・ 卒業年次の出席率が 90%以上であること ・ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・ 学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスмет奨学生制度、コスмет特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	20 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	2 人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学力不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	情報システム科 ITビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1739 単位時間／単位	1026 単位時間 ／単位	713 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1739 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人 (情報システム科 総定員)		24 人	0 人	7 人	2 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価を A～D の 4 段階で行っている。 成績分布において、下位 4 分の 1 が D に相当する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級条件】 ・1 年次の科目毎の出席率 90%以上であること ・1 年次の科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・1 年次の検定取得状況が良好であること ・学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ・卒業年次の出席率が 90%以上であること ・原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスмет奨学生制度、コスмет特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		医療ビジネス科 医療コース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1736 単位時間／単位		1017 単位時間 /単位	719 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
				1736 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60人 (医療ビジネス科 総定員)		26人	0人	5人		1人		6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級条件】 ・1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ・1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ・1年次の検定取得状況が良好であること ・学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ・卒業年次の出席率が90%以上であること ・原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ・学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスмет奨学生制度、コスмет特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	13 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院・薬局・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接客検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	3 人	8.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更・体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		医療ビジネス科 ビジネスコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1736 単位時間／単位		1017 単位時間 ／単位	719 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
				1736 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60人 (医療ビジネス科 総定員)		22人	0人	5人		2人		7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級条件】 ・1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ・1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ・1年次の検定取得状況が良好であること ・学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ・卒業年次の出席率が90%以上であること ・原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ・学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスметット奨学生制度、コスметット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院・薬局・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接客検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.6 %
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	ビジネスキャリア科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	928 単位時間／単位	512 単位時間 ／単位	416 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			928 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10 人		5 人	0 人	5 人	1 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価を A～D の 4 段階で行っている。 成績分布において、下位 4 分の 1 が D に相当する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級条件】 ・1 年次の各科目毎の出席率が 90%以上であること ・1 年次の各科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・1 年次の検定取得状況が良好であること ・学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ・卒業年次の出席率が 90%以上であること ・原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・秘書検定・サービス接客検定・エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項) 1 名は 2 年課程に転科			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1845 単位時間／単位	885 単位時間 ／単位	960 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1845 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		29人	0人	3人	5人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級条件】 ・1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ・1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ・1年次の検定取得状況が良好であること ・学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ・卒業年次の出席率が90%以上であること ・原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ・学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
公務員科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	12人 (85.7%)	2人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 官公庁・警察・消防・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	958 単位時間／単位	479 単位時間 ／単位	479 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			958 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		37 人	0 人	3 人	5 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 成績評価を A～D の 4 段階で行っている。 成績分布において、下位 4 分の 1 が D に相当する。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 【進級条件】 ・1 年次の各科目毎の出席率が 90%以上であること ・1 年次の各科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・1 年次の検定取得状況が良好であること ・学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ・卒業年次の出席率が 90%以上であること ・原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべて C 以上であること ・学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。	
学修支援等	
（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。	

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
公務員科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37 人 (100%)	0 人 (0%)	36 人 (97.3%)	1 人 (2.7%)
(主な就職、業界等) 官公庁・警察・消防・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
情報システム科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
医療ビジネス科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
ビジネスキャリア科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
公務員科	100,000 円	590,000 円	180,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 「令和6年度学校自己評価報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者による学校評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省生涯学習政策局）に即して行うことを基本とする。実施方法は評価項目（教育理念・目標、学校運営、教育活動、教育環境等）について学校関係者評価委員より意見を聴取した。評価結果については自己評価委員会に報告している。委員の定数は6名で、選出区分は企業、卒業生に委嘱する。評価結果を踏まえた改善方策は危機管理の一環として教職員の AED 講習を責任者校長の下で次年度に実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
原田株式会社 事務機部技術課課長	令和7年4月1日から 令和9年3月31日迄	企業
矢ヶ部医院 医師	令和7年4月1日から 令和9年3月31日迄	企業
鹿島市役所 商工観光課	令和7年4月1日から 令和9年3月31日迄	企業
佐賀県工業技術センター	令和7年4月1日から 令和9年3月31日迄	企業
和食処経営	令和7年4月1日から 令和9年3月31日迄	卒業生
華道瑩心流 師範	令和7年4月1日から 令和9年3月31日迄	企業
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cosmet.ac.jp/support-system/index.html
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cosmet.ac.jp/support-system/index.html
